

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	・観光客は順調に増加するなど観光関連産業は好調のようであることから、その波及効果が期待される。
		一般小売店〔菓子〕（企画担当）	・客単価の下落が懸念されるものの、入域観光客数は年末に向けて増加する。
		コンビニ（経営者）	・店内の客層を見ると、年輩の客や男性の客が増えていることから、客単価の増加が期待される。
		乗用車販売店（総務担当）	・新製品の発売に伴う販売量の拡大が見込まれる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・モノレールの開通、夏祭りの各種イベント、観光客の増加が景気の落ち込みや市場の暗さを吹き飛ばしてくれている。今後、テロもなく、台風もなければゆるやかに回復していく。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・価格が他店より安く美味しいものがやはり変わらず売れているが、ちょっと高くても変わった物、質の高い物にも、少しずつだが消費の動きが出始めている。
		都市型ホテル（マーケティング担当）	・現段階での先々の予約状況は好調であり、今後も増加が見込まれる。
	旅行代理店（経営者）	・SARSの影響により大幅に減少していた海外旅行件数だが、今月も含め、9月以降の申し込み件数が増加しており、前年度の数値には依然として届かないものの、近い数値までの回復が期待される。	
	変わらない	百貨店（担当者）	・モノレール開通による売上の上昇効果は、時期的に夏休みであること、開通間もないこと等が要因といえ、今後の判断は困難である。 ・3か月後も大きな変化は少ないと予想される。
コンビニ（エリア担当）		・現在の勢いは、晴天続きの天候によって支えられているものであり、現在がピークと考えられるが底上げ感がある程度広まってきているので、しばらくは維持される。	
衣料品専門店（経営者）		・雑貨の売上は安定しているものの、当店が主に販売している衣料品の販売状況は好調とまではいえず、今後に関しては予測がつかず、どちらともいえない。	
家電量販店（副店長）		・3か月後は歳末商戦が控えているため現在よりは来客数、売上等は上昇すると予想されるが、高額商品は購入までに時間がかかることから、客単価は現在と横ばい状態で推移する。	
高級レストラン（副支配人）		・景気対策となるイベント等の予定もなく、客は郊外のリゾート地域へ多く流れる傾向が今後も続く予想されることから、那覇市内の店舗では今後も苦戦が続く。	
観光名所（職員）		・イラク戦争後のテロ発生等により海外への旅行者が国内旅行にシフトし、その結果、国内でも地理的、文化的に特異性を有する沖縄への旅行が好調となっているとみられることから、当面この傾向は続く。	
ゴルフ場（経営者）		・他のゴルフ場が、当社の価格の状況を見て値段を引き下げるなど、互いの綱引きが今後2、3か月は続く予想されることから、現状と変わらない。	
住宅販売会社（従業員）		・景気の不透明感はぬぐえないことから、消費者の反応を見極めたい。	
やや悪くなる	スーパー（企画担当）	・10月から11月にかけて競合各社の大型店を含めた新店舗オープンが予定されていることから、今後の状況は厳しくなる。	
	スーパー（経営者）	・今年の秋口にかけて、県内での大型店の出店等が予定されており、今後益々競争が激化する。	
	コンビニ（エリア担当）	・秋以降、暑さが和らげば熱暑景気も治まる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・近年、中心商店街では来客数の減少により閉店時間が7時に早まったため夕方の客切れ時間も早まっているが、その反面、外周部の大型他店では夜間12時頃まで営業しており、客は今後も外周部に流れ厳しい状況が続く。	
企業 動向	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（総務担当）	・新規の物量増加が見込まれるため若干良くなる。

関連		通信業（従業員）	・経済産業省が報告書を公開するなど、オープンソースという開発手法が一定の認知を得たように感じる。弊社のコンサルスタイルは、正にこのオープンソースをどう活用するかが原点であり、業界全体のビジネスモデルがオープンソースとの共存に向けてシフトしつつある。
	変わらない	建設業（経営者）	・今月は受注単価及び契約価格が上昇したが、これは偶発的な理由であったという可能性もあることから、今後について楽観視はできない。
		輸送業（営業担当）	・見積依頼は多いものの、成約につながるまでには流動的な面があり、今後も特に変化は期待できない。
	やや悪くなる	不動産業（支店長）	・景気が良くなる材料がみあたらず、問い合わせ件数等も大幅に減少している。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・企業からの求人数が増加している。最近増加傾向にあった単発的なプロジェクト型案件のほかに、長期安定的な案件の増加がみられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・今後大幅な好転は望めないが、現状よりも改善する。大学は現在、夏期休暇期間中であるため県内中堅企業からの求人数は少なくなっているが、後期日程が始まる10月以降には求人依頼が増加することを期待したい。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・景気は少し持ち直した感があるが、今後についてはこの状況を維持するような要素もみあたらず、今後も現状のまま推移する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業の方と話をする機会があるが、特に建設業の先行きが見えないという印象が非常に強く、学生の就職への影響が懸念される。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・株価の上昇に伴い景気も上昇機運であるが、沖縄を除く全国的な冷夏によって学生の就職にも何らかの影響が出てくるのか否か等、不安材料がある。
	やや悪くなる	○	○
悪くなる	-	-	